

# 地質ニュース

昭和 57 年 11 月

第 339 号

1 9 8 2

地質調査所創立 100 周年記念行事おこなわれる……………	沢 俊 明… 6
地質調査所 100 年の回顧と展望……………	陶 山 淳 治… 8
地震予知技術の展望……………	垣 見 俊 弘…11
地熱エネルギーの将来……………	角 清 愛…15
地質調査所における地震災害調査…………… 及び火山噴火調査の変遷	山 崎 晴 雄…19
地質調査所における温泉調査の歴史……………	黒 田 和 男…26
地質調査所における土木地質調査事業の変遷……………	遠 藤 秀 典…32
地質調査所における応用地質調査業務の歴史…………… —地下水・表流水の調査研究—	石 井 武 政…41
深部地質構造のもつ意味(2)……………	木 村 敏 雄…51
地球化学者ヴェルナツキーの切手……………	P. Q. …59
その後の西シベリア油田・ガス田群(4)……………	岸 本 文 男…60
象 潟 KISAKATA……………	大池 荒土 佐垣 沢 刃 川 谷 藤 見 穰 穰 一 之 之 弘 洋 信 博 俊 …76

口 絵

黒鉱鉱床の採掘から精練まで

小 村 幸 二 郎

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

切羽における鉱石積み込み作業

黒鉱鉱床の採掘切羽の状況を示す。発破孔をノミ(たがねの一種)とセット(ハンマーの一種)で掘り、スコップを使って鉱石や岩石を鉱車に積み込み、そして、鉱車を手で押していた往時にくらべると、ジャイアントのような大型さく岩機やこの写真に見られるようなローダーを使用して大量の鉱石や岩石が採掘・運搬される現代の坑内切羽は大規模である。そして、発破の後の切羽では、ローダーだけが、まるで生物のように身をゆすりながら、崩された鉱石や岩石をきれいにさらってゆく。土木作業の現場を見るようにさえ思える坑内には、人影もまばらで、長く連結された小さな鉱車もレールもない。大型機器を駆使して採掘することが可能な主な理由をつきつめてみれば、黒鉱鉱床が海底で厚く堆積した当時の性状を余り損わずに残しているからということになるのかもしれない。(小村幸二郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社